

「秀景ふるさと富士写真コンテスト」の審査委員長を長年お務めいただいた、山岳写真家の白旗史朗氏が、令和元年11月30日に御逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心より御冥福をお祈りいたします。

南アルプスや富士山の自然を愛し、ライフワークとして撮影を続けた白旗氏の志を継ぎ、これからも“ふじのくに”の美しい自然を大切にまいります。



しらはた しろう
白旗 史朗氏

「秀景ふるさと富士写真コンテスト」審査委員長

白旗史朗氏と“ふじのくに”静岡県

平成22年2月22日～3月7日
富士山の日制定記念「ふるさと富士山写真展」
白旗氏の「南アルプス・千枚岳、富士の日ノ出」や
皇太子殿下(現天皇陛下)御撮影写真のほか、
全国各地のふるさと富士の写真が並んだ。



平成23年2月20日
「富士見のイベント 富士山写真展」の
開会記念式典で審査委員長として挨拶。
「第1回秀景ふるさと富士写真コンテスト」の入賞作品と
白旗氏撮影の写真など、数多くの“富士山”写真が並んだ。



白旗氏には第1回から9年間、
コンテストの審査委員長を
務めていただいた。



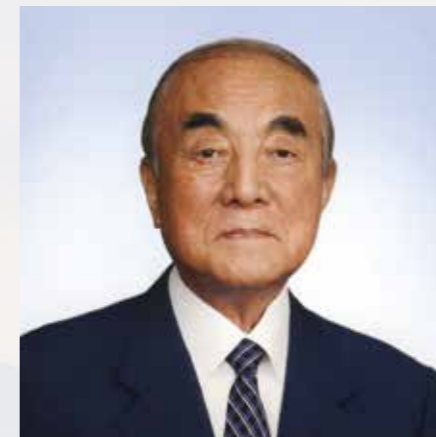
南アルプス南部の
登山拠点になっている樺島ロッジには、
「南アルプス白旗史朗写真館」がある。
(写真提供:特種東海製紙(株))



「世界遺産 富士山」を
PRするためのポスターに、
白旗氏撮影の写真を
御提供いただいた。

富士山の世界文化遺産登録に多大なご尽力をいただいた中曽根康弘氏が、令和元年11月29日に御逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心より御冥福をお祈りいたします。

旧制静岡高等学校(現静岡大学)に学ばれ、常に富士山を心の形とし、静岡と富士山を愛した中曽根氏の志を継ぎ、これからも富国有徳の美しい“ふじのくに”づくりを推進してまいります。



なかそね やすひろ
中曽根 康弘氏

「富士山を世界遺産にする国民会議」会長
「富士の国」づくり推進会議 最高名誉顧問

中曽根康弘氏と“ふじのくに”静岡県

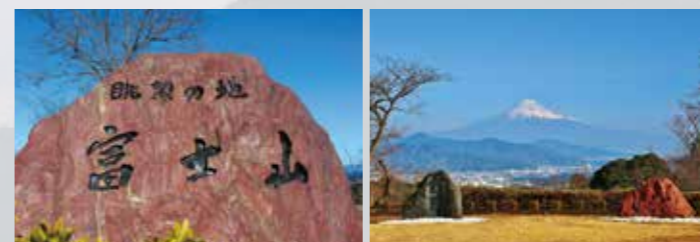
平成20年3月5日
「世界文化遺産シンポジウム」
(東京国際フォーラムにて開催)で挨拶。
富士山が世界文化遺産暫定リストに登録後、
初のシンポジウムであった。



平成25年2月23日
「富士山の日フェスタ2013 in TOKYO」(ベルサール神田にて開催)に登壇、
主催者の1人「富士山を世界遺産にする国民会議」会長として挨拶。
静岡県と山梨県による「富士山の日」イベントとして、初めて合同開催された。
この年の6月22日、富士山が世界文化遺産に登録された。



平成27年2月23日
日本平山頂に中曽根氏の揮毫による石碑「眺望の地 富士山」を設置(静岡商工会議所寄贈)。
同じ年の6月22日には、梅原猛氏の揮毫による石碑が隣に並べて設置された。



平成23年には、程永華・中華人民共和国駐日
大使(当時)と川勝知事との鼎談も行われた。
(2月23日毎日新聞、及び「サンデー毎日」3月13日号に掲載)
※後に『富士山を語る』(静岡新聞社発行・絶版)、及び
『青山常運歩』(毎日新聞社発行)に収録。

